

石田総務大臣と有識者との意見交換会（第3回）議事要旨

1. 日時

平成30年12月14日（金） 11:30～13:30

2. 場所

総務省大臣室

3. 出席者

石田総務大臣、
大石所長、佐藤顧問、神野学長、増田教授、松山顧問、村井教授

4. 有識者からの主な意見

- いわゆるL型（ローカル経済圏）産業では、物的生産性よりも、価格を上げることが必要になってくる。
- 地場産業について、ICTにより、製造×サービス、製造×マーケットなどの相乗効果をあげていくことが重要。
- 地域の工芸品の製造のノウハウなど、地場産業の承継も重要な課題で、映像データが貢献できることも多い。
- ポスト工業社会になると、必ずしも規模の経済が働くとは限らないため、地方にも産業の中心地を作り出すチャンスがやってくる。
- ブランドとは地方の魅力であり、世界の他の地域にないものを見つけ、世界に売り出すことが大事。
- 現場で知恵を持っている人の協力を得ながら、県単位で、IT活用、ブランディング、マーケティングに関してしっかりとした方針を持つことが必要。
- 人口流出（特に女性）に対する一つの方策としては、地場企業の魅力を上げること。
- 有業率が高い都道府県では、育児中の女性も仕事を継続している。
- 大学で建築や土木の学科に入る女性は優秀な学生が多く、意識が高い。テクノロジーによって障壁を取り払い、働くチャンスがあれば、女性も参入できる分野はたくさんある。